

(1) 第2回専門部会等を踏まえた施策内容の修正について

基本目標 1

●施策 1-1 「こどもの権利が守られ、こどもたちが自分らしく育つ環境づくり」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|-----------------------|--|--|
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新 | 【指標④最新値】 小6 80.6% 中3 67.9% (令和5年度) | <u>小6 80.7%</u> <u>中3 66.1% (令和6年度)</u> |

基本目標 1

●施策 1-2 「こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---|--|--|
| <p>(庁内での検討) 「相談先を知っている」に加え、 「相談できる人がいる」ことの重 要性をふまえ指標名修正</p> | <p>【指標②】 (指標名) 妊娠や出産、子育ての相談 先を知っている妊婦及び子育て家庭の 割合 (目標値) 令和10年度：80% 令和14年度：90%</p> | <p>(指標名) 妊娠・出産・子育てについ て相談できる人がいる、または、相談 先を知っている区民の割合 (目標値) 令和10年度：85% 令和14年度：95%</p> |
| <p>(庁内での検討) 合計特殊出生率最新値取得にとも ない内容とグラフを更新</p> | <p>【現状と課題①】 大田区においても出生数は減少傾向に あり、令和4年に5,000人を下回しま した。また、大田区の合計特殊出生率 は、令和元年1.10から令和4年は1.04 になり、少子化がさらに進行していま す。大田区の合計特殊出生率は、東京 都全体及び特別区の平均と同率です が、全国の平均値よりも低く、安心し て出産できる環境づくりを推進する 必要があります。</p> | <p>【現状と課題①】 大田区の合計特殊出生率は、令和元年 1.10から令和5年は0.96になり、少 子化がさらに進行しています。大田区 の合計特殊出生率は、全国の平均値よ りも低く、東京都全体及び特別区の平 均と比べてもやや低い水準であり、安 心して出産できる環境づくりを推進す る必要があります。</p> |

基本目標 1

● 施策 1 - 3 「豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|--|--|--|
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新 | 【指標①最新値】 小6 77.1% 中3 80.4% (令和5年度) | <u>小6 79.3%</u> <u>中3 81.4%</u> (令和6年度) |
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新 | 【指標②最新値】 小6 71.7% 中3 60.6% (令和5年度) | <u>小6 78.1%</u> <u>中3 73.9%</u> (令和6年度) |
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新、把握元の指標名変更にもなう指標名修正 | 【指標④】 (最新値) 小6 81.6% 中3 79.4% (令和5年度) (指標名) 学級の児童(生徒)との間で話しあう活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童・生徒の割合 | (最新値) <u>小6 83.0%</u> <u>中3 84.6%</u> (令和6年度) (指標名) 学級の児童(生徒)との間で話しあう活動を通じて、自分の考えを深めたり、 <u>新たな考え方に気付いたり</u> することができる児童・生徒の割合 |
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新 | 【指標⑤最新値】 小6 83.3% 中3 81.5% (令和5年度) | <u>小6 83.4%</u> <u>中3 83.8%</u> (令和6年度) |

基本目標 1

● 施策 1 - 3 「豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きる こどもの育成」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|-----------------------|--------------------------------------|--|
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新 | 【指標⑥最新値】 小6 69% 中3 70% (令和5年度) | <u>小6 71.0%</u> <u>中3 59.0%</u> (令和6年度) |
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新 | 【指標⑦最新値】 小6 67% 中3 53% (令和5年度) | <u>小6 68.0%</u> <u>中3 54.0%</u> (令和6年度) |

基本目標 1

● 施策 1 - 3 「豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---|--|--|
| <p>コミュニティスクールの位置づけは1 - 2でいいか。1 - 3にもかかわってくるのでは。</p> <p>学校運営、特にその荒れた学校を正常化させるために、地域の力つてものすごい重要だと思う。学びの場以外に、地域の人が学校に入って、先生が手に負えないような状況に、マンパワーとして支援する仕組み。全校に広げていった方がよいのでは。</p> | <p>【施策の方向性】</p> <p>こどもたちの未来を創り出す力を育成するため、こどもたち一人ひとりの最適な学びを実現する授業改善を推進します。また、学校における働き方改革を推進し、教師がこどもたちに向き合う時間を確保するとともに、研修の充実等により教師が備えるべき資質・能力を高め、教師の指導力を一層向上させます。</p> <p>さらに、質の高い教育の実現や複雑化・困難化する教育課題に対応するため、学校の組織的な運営力を向上させます。</p> | <p>こどもたちの未来を創り出す力を育成するため、こどもたち一人ひとりの最適な学びを実現する授業改善を推進します。また、学校における働き方改革を推進し、教師がこどもたちに向き合う時間を確保するとともに、研修の充実等により教師が備えるべき資質・能力を高め、教師の指導力を一層向上させます。</p> <p>さらに、質の高い教育の実現や複雑化・困難化する教育課題に対応するため、地域と連携しながら学校の組織的な運営力を向上させます。</p> |

基本目標 1

●施策 1-4 「一人ひとりが自分らしく学べ、個性と能力を伸ばす教育環境の整備」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---------------------------------|---|---|
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新 | 【指標②最新値】 小 6 66.4% 中 3 65.1% (令和 5 年度) | <u>小 6 64.4%</u> <u>中 3 66.4% (令和 6 年度)</u> |
| (庁内での検討) 参考図表をより関連性のあるデータに変更 | 【現状と課題②参考図表】 教育センターにおける教育相談の状況 | <u>小中学校における不登校の出現率</u> |
| (庁内での検討) わかりやすい表現に言い換え | 【現状と課題④】 児童・生徒や教師へのタブレット端末の配備や各教室への電子黒板の配備など、様々な学習の場面において I C T を活用できる環境が整備されています。個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に向け、 I C T 環境はもとより、多様な学びの姿に対応した学習環境の整備が求められています。 | 【現状と課題④】 児童・生徒や教師へのタブレット端末の配備や各教室への電子黒板の配備など、様々な学習の場面において I C T を活用できる環境が整備されています。 <u>児童・生徒の可能性を引き出す学びの充実に向け、</u> I C T 環境はもとより、多様な学びの姿に対応した学習環境の整備が求められています。 |

基本目標 2

● 施策 2-5 「人々の相互理解と交流の促進」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---|--|--|
| <p>(庁内での検討) めざす姿②について、対象がより明確になるよう文章を修正</p> | <p>【めざす姿②】 情報提供の多言語化など、「伝える情報」から「伝わる情報」への転換が図られるとともに、日本語及び日本の生活習慣の理解が進んでいます。また、多様な団体と連携し、個々のケースに対応したきめ細かな支援が行われ、外国人区民も地域の中で安心して暮らせるようになっていきます。</p> | <p>情報提供の多言語化など、「伝える情報」から「伝わる情報」への転換が図られるとともに、日本語及び日本の生活習慣について、外国人区民の理解が進んでいます。また、多様な団体と連携し、個々のケースに対応したきめ細かな支援が行われ、外国人区民も地域の中で一層安心して暮らせるようになっていきます。</p> |

基本目標 2

● 施策 2-7 「スポーツの楽しさが広がる環境の整備」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---|---------------------------------|--------------------------|
| (庁内での検討) 施策の方向性②について、改定中のスポーツ推進計画と整合を図るためタイトルを修正 | 【施策の方向性②】 ニーズに即したスポーツ施設の有効活用 | ニーズに即したスポーツ <u>環境の整備</u> |

基本目標 3

● 施策 3-1 「脱炭素化の推進と豊かな自然の継承」

| 意見 | 対応 |
|--|--|
| <p>緑被率とみどり率については分かりやすい説明や補記が必要ではないか。また、みどり率は2000年に東京都が独自に規定したものである、ということも補記をするのはどうか。</p> | <p>【用語解説】</p> <ul style="list-style-type: none">● 緑被率 みどりの総量を把握する方法のひとつで、航空写真等によって上空から見たときのみどりに覆われている面積の割合のこと。森林・樹林地のほか、草地や農地、公園や道路、学校などの公共公益施設のみどり、住宅、工場などの私有地のみどり等が含まれる。● みどり率 緑被率に、水面が占める面積の割合と公園内の緑で覆われていない面積の割合を加えた割合。2000（平成12）年12月に東京都が策定した「緑の東京計画」に取り入れられた指標。 |

基本目標 3

● 施策 3-2 「持続可能な循環型社会の構築」

| 意見 | 対応 |
|--|--|
| <p>施策シート内の 3R+ Renewable の定義として説明が一般的なものと合っているか改めて確認してほしい。わかりやすく平易なものに置き換えていくことを考えることが重要ではないか。</p> | <p>【用語解説】</p> <ul style="list-style-type: none">● 発生抑制 (Reduce) 製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を抑制すること。● 再使用 (Reuse) 使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること。● 再生利用 (Recycle) 廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること。● 循環利用 (Renewable) 再生可能な資源に替えること。例えば、プラスチック製の袋や容器を、植物由来の素材で微生物により分解される性質も持つバイオマスプラスチック製に替えることなどを指す。 |

基本目標 4

● 施策 4-1 「災害に強く回復しやすい減災都市の実現」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|--|---|---|
| <p>能登半島の地震において、デジタルツインで災害前の状態を再現して、このような道路であったら被害がどれだけだったかシミュレーションを行うなどの実証が始まっている。例えば無電柱化をしていると、これだけ被害が少なくなるということを区民に見せていくということもあってよい。</p> | <p>【施策の方向性③】 区で管理している橋梁の耐震性能を把握し、発災時における自宅から避難所までの円滑な避難や緊急車両の通行のリスクを最小化します。また、発災直後から刻々と変化する状況を想定し、道路ネットワークにおける路線の位置付けや耐震性能を踏まえ、優先対策橋梁の耐震整備を推進します。</p> | <p>区が管理する橋梁の耐震性能を把握し、発災時における自宅から避難所までの円滑な避難や緊急車両の通行のリスクを最小化します。また、発災直後から刻々と変化する状況を仮想空間でのシミュレーションにより想定し、実社会での道路ネットワークにおける路線の位置付けや耐震性能を踏まえ、優先対策橋梁の耐震整備を推進します。</p> |
| <p>デジタルを活用していくというのは重要な視点。</p> | | |

基本目標 4

● 施策 4-1 「災害に強く回復しやすい減災都市の実現」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---|---|--|
| <p>(庁内での検討) 大田区高台まちづくり基本方針 (素案)の策定に伴い、基本計画 の記載を修正</p> | <p>【めざす姿③】 気候変動により激甚化している水害の危険性に対し、建築物や公園など公共施設を活用した垂直避難の場所が確保されています。また、高層階の公共施設がない場合にも、民間施設との協定を締結するなどして、発災時に区民の命を守る避難場所が確保されています。</p> <p>【現状と課題⑤】 区の38%のエリアで浸水が想定されており、区役所本庁舎やJR蒲田駅周辺も浸水区域内に立地しています。また、浸水エリアには、区の人口の約60%が居住しています。大田区での高台（周囲よりも地盤や建物等の床が高く、浸水に対する安全性の高い場所）が不足している箇所の把握（避難対象者数と収容可能人数の把握）と、その方針の検討を行う必要があります。</p> | <p>気候変動により激甚化・頻発化している水害の危険性に対し、建築物や公園など公共施設を活用した垂直避難の場所が確保されています。また、高層階の公共施設がない場合にも、民間施設との協定を締結するなどして、発災時に区民の命を守る「高台」が確保されています。</p> <p>多摩川が想定最大規模で氾濫した場合、 区の約37%のエリアで浸水が想定されており、区役所本庁舎やJR蒲田駅周辺も浸水区域内に立地しています。また、浸水エリアには、区の人口の約60%が居住しています。区の高台（浸水位よりも地盤や建物等の床が高く、浸水に対する安全性の高い場所）が不足している箇所への早急な対応が求められており、建物群、公園等公共施設、高規格堤防を組み合わせながら整備する必要があります。</p> <p>※その他SDGs マークの見直しあり 13</p> |

基本目標 4

● 施策 4-1 「災害に強く回復しやすい減災都市の実現」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|----------------------|---|--|
| (庁内での検討) 数値の誤りを修正 | 【指標⑥】 無電柱化（電線共同溝等）整備延長 目標値（令和10年度）17.59km | 無電柱化（電線共同溝等）整備延長 目標値（令和10年度）17.53km |

基本目標 4

● 施策 4-1 「災害に強く回復しやすい減災都市の実現」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|--|-----|---|
| <p>防災公園などはどのように主要事業へ入れていったらよいのか。公園分野は4-8にあるが、防災拠点としての公園は国交省も進めている部分であり、4-1へ入れる余地があると感じた。</p> | — | <p>※施策4-8「多彩で魅力ある公園・緑地づくり」において以下の施策の方向性を追加 【施策の方向性①】 <u>「誰もが利用したくなる魅力ある公園の実現に向けた仕組みづくり」</u> <u>区を取り巻く社会情勢や多様化するニーズに対応し、地域から愛され、誰もが利用したくなる公園の実現に向けて、地域で公園を育む仕組みを含めた公園・緑地づくりの羅針盤となる計画等を策定します。策定した計画等を踏まえて、やすらぎや防災などの公園が持つ様々な機能が最大限発揮された、魅力ある公園の整備や活用を推進します。</u></p> |
| <p>実際には横につないで連携する部分がある。例えば4-8の身近な公園のところで記載するなども考えられる。</p> | | |
| <p>公園の大きな目的の1つとして防災を挙げてもよい。</p> | | |

基本目標 4

● 施策 4 - 2 「地域力を活かした防災対策の推進」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|--|---|--|
| <p>(庁内での検討) 指標②「災害から身を守るために取組をしている区民の割合」において、最新値と目標値の表現を修正</p> | <p>【指標②】 災害から身を守るために取組をしている区民の割合 最新値 14.4%(令和6年度) 目標値 0%(令和10年度) 0%(令和14年度)</p> | <p>【指標②】 災害から身を守るために取組をしている区民の割合 最新値 85.6%(令和6年度) 目標値 100%(令和10年度) 100%(令和14年度)</p> |

基本目標 4

●施策 4-3 「治安がよい美しいまちの実現」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|--|-----|---|
| <p>主要事業には載っていないが、自治会・町会のパトロール活動が載っていない。地域の人たちに安心感を与える活動でもあるので、そのような活動を行っていることをアピールしてほしいと思う。区の方角性として、文言だけでも入っていれば、パトロールをやっていない町会にも波及すると思う。予算額の大小とは関係なくやってもらいたい。</p> | — | 基本計画の製本時に、 自治会・町会パトロールの写真を挿入 することを検討 |
| <p>自治会が治安向上に取り組んでいることが重要ではあるが、一方で行政からやらされるとい捉え方もあり、表現が難しいとも思う。表現を検討してほしい。</p> | | |

基本目標 4

● 施策 4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|--|---|--|
| <p>橋梁の長寿命化について。4-1の橋梁の強靱化の主要事業ともほぼ同じである。事業と事業がそれぞれ連携してより高い成果を狙って行く必要がある。他の施策とも連携しているような表現をしてほしい。事業間のつながりがきちんと書いてあると分かりやすくなる。</p> | <p>【施策の方向性②】 区で管理している橋梁に対して新技術やデジタル技術を活用した点検や管理を段階的に導入します。また、橋の構造や環境条件、定期点検結果等を踏まえて、予防保全の手法を選定することで、橋梁の健全性の維持向上を図ります。</p> | <p>区が管理する橋梁に対して新技術やデジタル技術を活用した点検や管理を段階的に導入します。また、橋の構造や環境条件、定期点検結果や耐震性能等を踏まえて、予防保全の手法を選定することで、橋梁の健全性の維持向上を図ります。</p> |

基本目標 4

● 施策 4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|--|---|--|
| <p>自転車に関して、施策の方向性では「自転車等駐車場の効率的・効果的な整備」とあるが、主要事業では「自転車等利用総合対策の推進」となっており、順番が逆転しているように見える。自転車はプラスの面とマイナスの面がある。4-6ではマイナスの面が多い。それぞれの整理をしてほしい。また、施策の方向性に記載されている自転車等駐車場の整備の内容が主要事業には記載されていない点も気になる。整合を取るように直すべき。</p> | <p>【めざす姿③】 誰もが正しく交通ルールやマナーを守っています。また自転車等駐車場が適切に整備され、放置自転車がないまちになっています。</p> <p>【現状と課題⑤】 その問題の程度に合わせて効率的・効果的に対策を講じる必要があります。～。また、施設の老朽化が進む中で、施設の廃止、長寿命化等を含めた方針を定める必要があります。</p> <p>【施策の方向性⑥】 「自転車等駐車場の効率的・効果的な整備」 ～。また、蒲田駅東口地下自転車駐車場の整備を契機とした指定管理者制度等の導入の検討など、公民連携手法による自転車等駐車場の整備を行います。</p> | <p>誰もが正しく交通ルールやマナーを守っています。また自転車等駐車場が適切に整備され、放置自転車が<u>なく安全かつ快適に自転車可以利用できる</u>まちになっています。</p> <p>～、その問題の程度に合わせて<u>効果的・効率的な対策が重要です</u>。～。<u>また近年、環境負荷の少ない自転車の需要が高まる一方、自転車事故も増加傾向にあり、自転車活用の推進と同時に安全運転・マナー啓発の強化を図る事業展開が課題です。</u></p> <p>「<u>自転車等利用総合対策の推進</u>」 ～。また、蒲田駅東口地下自転車駐車場の整備を契機とした指定管理者制度の導入の検討や<u>デジタル技術の活用等により放置自転車対策を強化します</u>。<u>さらに、安全かつ快適に自転車を利用できる仕組みづくりなどを行い、自転車等利用総合対策を推進します。</u></p> |

基本目標 4

● 施策 4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---|--|--|
| <p>空き家は所有者がほったらかしにするのではなく、利活用できるところはきちんと利活用していきましようというのを啓蒙していくべき。そのような観点で主要事業にしているのであれば理解できる。しかし、今後事業展開をしていくことだけに重きを置いているのだとすると、違和感を感じてしまう。</p> | <p>【現状と課題④】 ～。適正管理を促すためには、課題解決の支援が必要です。また、空家等が管理不全の状況に陥ると、周辺環境への影響が懸念されるため早期解決が求められます。空家等となる前からの対策が課題となります。</p> <p>【施策の方向性④】 空家等の所有者や将来的に空家の所有者となる可能性のある方を対象とした相談体制を充実するとともに、管理不全空家の対策を強化し、特定空家の発生を抑止します。また、空家を地域資源として捉え、公益的に活用する取組を促進します。</p> | <p>～。<u>適正に管理されていない空家等は周辺環境に悪影響を及ぼすことから、早期対応や空家等の発生予防が重要です。民間企業等とも連携した区民等への啓発活動や所有者等への働きかけのより一層の充実が課題です。</u></p> <p><u>区民等への啓発活動や所有者等を対象とした相談体制を充実させるなど、適正に管理されていない空家等の発生を予防するとともに、早期の働きかけにより管理不全空家や特定空家の発生を抑止します。</u>また、空家等を地域資源として捉え、公益的に活用する取組を促進します。</p> |

基本目標 4

● 施策 4-6 「誰もが快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境の整備」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|-----------------------|--------------------------------------|--|
| (庁内での検討) 指標の最新値を更新 | 【指標⑥】 放置自転車台数 最新値 382台 (令和5年度) | 放置自転車台数 最新値 307 台 (令和 6 年度) |

基本目標 4

● 施策 4-8 「多彩で魅力ある公園・緑地づくり」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|--|-----|--|
| 防災の観点など、公園は様々な目的があるので、他施策間との整合を取ってほしい。 | — | ※以下の施策の方向性を追加 <u>「誰もが利用したくなる魅力ある公園の実現に向けた仕組みづくり」</u> <u>区を取り巻く社会情勢や多様化するニーズに対応し、地域から愛され、誰もが利用したくなる公園の実現に向けて、地域で公園を育む仕組みを含めた公園・緑地づくりの羅針盤となる計画等を策定します。策定した計画等を踏まえて、やすらぎや防災などの公園が持つ様々な機能が最大限発揮された、魅力ある公園の整備や活用を推進します。</u> |
| パークマネジメントマスタープランについて、記載に唐突感があり、区民からしても言葉に馴染みがない。何を狙ってマスタープランを作るのかの説明が必要。 | | |
| 基本構想の議論の中で、こどもの一番の関心ごとが公園と分かった。公園が区民満足度や土地価格などにも影響し、政策的・経済的に重要ということの認識が高まっている。マネジメントマスタープランを作る意義として、大田区は公園を通じて区民の満足度や土地の魅力などを向上させていくということを謳ったうえで、それをしっかり計画に落としこんでいく旨を分かりやすく記載した方がよい。ただただ1つのプランを作るというように見えないようにしてほしい。 | | |
| パークマネジメントマスタープランに含まれる内容なのかかわからないが、期待されているものであるため、いずれにせよ戦略的に公園整備を進めていくことを打ち出してほしい。 | | |

基本目標 4

● 施策 4-8 「多彩で魅力ある公園・緑地づくり」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---|-----|--|
| <p>施策の方向性「大規模公園・緑地の魅力向上」のなかにパークマネジメントマスタープランが入っていることに違和感がある。4-8-1「大規模公園・緑地の魅力向上」と4-8-2「身近な公園・緑地の魅力向上」にまたがる内容ではないか。そのため、現在の施策の方向性は規模間で2つに分かれているが、その前提として、区内公園の全般的な方針が記載されている施策の方向性を追加してもよいのではと感じた。</p> | — | <p>※以下の施策の方向性を追加</p> <p><u>「誰もが利用したくなる魅力ある公園の実現に向けた仕組みづくり」</u> <u>区を取り巻く社会情勢や多様化するニーズに対応し、地域から愛され、誰もが利用したくなる公園の実現に向けて、地域で公園を育む仕組みを含めた公園・緑地づくりの羅針盤となる計画等を策定します。策定した計画等を踏まえて、やすらぎや防災などの公園が持つ様々な機能が最大限発揮された、魅力ある公園の整備や活用を推進します。</u></p> |
| <p>身近な公園について。公園整備においては地域の方を巻き込んで、手間をかけて整備してほしい。地域の人がかかると自分たちの公園の意識が芽生え、掃除などの公園管理にもつながる。</p> | | |
| <p>こどもの遊んでいる声がうるさいと近隣の苦情を口実に、行政が止まってしまったり、特定の人に利する対応をすることがある。こどもの遊んでいる声はまちの明るさであり、魅力であるということを知ってもらうためにも、地域を巻き込んで公園の計画を作っていくことが重要。</p> | | |
| <p>新空港線の整備等が進み、他県からの移動が便利になったとき、大田区が1つの通過点にならないようにしてほしい。人を呼び込むような公園を整備してほしい。</p> | | |

基本目標 4

● 施策 4-9 「水とみどりのネットワークでやすらげる環境づくり」

| 意見 | 修正前 | 修正後 |
|---|--|---|
| <p>4-8 とあわせていわゆる屋外環境として4-9を捉えたときに、その環境の存在価値としては防災効果や健康増進、シビックプライドの醸成や地域コミュニティの形成などの効果がある。4-8と併せて、まちづくりの重要性を区民の方にも理解頂いて、一緒に取り組んでいくという見せ方が重要と感じた。</p> | <p>【施策の方向性①】 新たなみどりの創出や既存の水とみどり空間の保全・活用により、まちづくりのさらなる推進を図ります。また、自然環境が有する機能を活用してまちづくりの課題解決につなげる「グリーンインフラ」の普及を図るとともに、みどりの魅力向上に資する取組を計画的・継続的に推進するため、「グリーン基金」による財源確保に務めます。</p> | <p>新たなみどりの創出や水とみどり空間の保全・活用により、<u>みどりの取組を“量”と“質”の両輪で進めることで、防災対策や地域振興等に寄与する</u>まちづくりを推進します。また、<u>みどり空間を活用する</u>「グリーンインフラ」の普及を図るとともに、みどりの魅力向上を計画的に推進するため、「グリーン基金」<u>の運用を図ります</u>。</p> |